

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
幼児体育Ⅱ	演習	1	山中 愛美
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> テーマ:幼児体育の指導について学ぶ。 到達目標:①模擬授業・保育を通じて、運動あそびの指導法及び安全管理について学習し、実践力を高める。②子どもをやる気にさせるための援助方法について受講者間で議論し、将来の保育・教育に活用できる能力を身に付ける。			
<b>【授業の概要】</b> 1. 幼児体育Ⅰで習得した技能を参考に、各自が模擬授業・保育を実施する。 2. 模擬授業・保育に対して受講者間で意見交換及び相互評価を行う。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス			
2. 教材づくり			
3. 指導案作成			
4. 模擬授業・保育①(ごっこあそび)			
5. 模擬授業・保育②(かけっこリレー)			
6. 模擬授業・保育③(輪、棒)			
7. 模擬授業・保育④(ボール、縄)			
8. 模擬授業・保育⑤(マット)			
9. 模擬授業・保育⑥(跳び箱)			
10. 模擬授業・保育⑦(新聞紙)			
11. 模擬授業・保育⑧(風船)			
12. 模擬授業・保育⑨(タオル)			
13. 模擬授業・保育⑩(リズム)			
14. 模擬授業・保育⑪(サーキット)			
15. 授業まとめ			
<b>【準備学習の内容】</b> 予習のあり方:模擬授業・保育を実施する際、各自が創意工夫して指導できるよう教材研究を行うこと。 学習のあり方:実施された授業・保育を振り返り、授業改善についての意見交換を積極的に行うこと。 復習のあり方:模擬授業・保育で気付いたことを記録し、今後の活動に役立てること。			
<b>【成績評価】</b> 授業態度(40%)、模擬授業・保育(40%)、提出物(20%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> 提出課題に対してコメントを付けて翌週返却する。			
<b>【テキスト】</b> 特になし			
<b>【参考文献】</b> 日本幼児体育学会『幼児体育—理論と実践—』大学教育出版 大元千種『書き方・あそび・保育のコツがわかる 実習の日誌と指導案サポートブック』ナツメ社			